

【ものづくり 人づくり 地域づくり】 10/19 秋の生協まつり②

2013 秋の 生協まつり

11月4回カタログは生協まつり特集
各ページにて出展した生産者・メーカーが大
集合。祭りに来場できなかった方もぜひご家
庭で想いの詰まった一品をお試ください。

高橋徳治商店の「おでん」が帰って来ました！

震災から2年半。今年の夏より稼働を始めた新工場では、待望のおでんの製造が行えるようになりました。生協まつりには高橋社長の息子さん・利彰（としあき）さんが常総生協に初来協してのお披露目会。再開にあたっては社員一丸で納得いくまで試作と試食を重ね、高橋徳治商店の味と想いを練り込みました。

今回のおすすめ「あと一品」は
12 おでん種セット 税込 803 円
組合員みんなで利用を集めて
目標 500 個を目指します！



組合員の栗原さん親子と高橋徳治商店の高橋利彰さん

人気のおとうふ揚げは表紙、その他の練り物は 10 ページにて高橋徳治商店特集



目標
500 個

さつま揚げ×2、ソフトはんぺん×1、蒸しはんぺん×2、ぼたんちくわ×2、イカ巻き×1、豆腐かまぼこ×1、小魚つみれ×2の充実のセット。



13 おとうふ揚げ



251 笹かまぼこ

【11月の予定】 ※11/7 現在の予定です。

●地域での活動・催し	●基幹運営・対外関係
11/12 火 9時半-12時 知恵袋交流会 (利根町公民館)	11/14 木 関東子ども健康調査支援基金呼びかけ人会議 (本部)
11/13 水 10時-12時 「おいしくたのしく遊びましょう」 (土浦6中地区公民館)	11/23 土 18:20-20:40 東葛の土壌調査と子どもの健康調査から見てきたこと (南流山センター大ホール)
11/15 金 -16 土 10時-17時 せいきょう戸頭店収穫祭	11/24 日 あいコープふくしま生協祭 参加申し込みは生協まで！ 050-5511-3926 (本部)
11/16 土 10時-12時 放射能学習会 (竜ヶ崎地区)	11/29 金 第6回定例理事会
11/26 火 10時-12時 わた交流会 (本部)	
11/28 木 10時-12時 おせち試食会① (つくば小野川)	
11/28 木 10時-12時 おせち試食会② (我孫子) ※「クッキングキャラバン」の予定はP3です。	

先週加入された、常総生協の新しい仲間をご紹介します！
～こんな理由で加入しました～

○放射能関係の講演会に何度か参加しました。子ども達や地域の事を本気で考えている生協なんだと実感し加入了。(牛久市・Tさん)

○お友達から常総生協を教えてもらいました。食品に使われている添加物が気になっており、中でもお豆腐の添加物の説明を聞き納得！ (守谷市・Iさん)
その他にもご加入いただきました。
供給担当まで一声かけてください (会えない場合はご意見欄をご活用ください)。資料と試食を持ってすぐにお伺いします！

[2013 秋の生協まつり] 生産者と組合員の笑顔が集合

■旨みたっぷりキムチ鍋（宮城県・趙さんの味）

宮城県・趙さんの味からは新商品の「キムチ鍋セット」を李さん自ら調理しての試食コーナー。見た目はどうしても辛そうに見えるキムチ鍋、食べてびっくり。**コクがあり、辛さを感じさせない旨みがたっぷり。**うまさの秘密は李さん特製の自家製コチュジャン。じっくり発酵・熟成させた逸品です。会場で試食した方からも「身体がすごく温まります」との声をいただきました。これからの寒くなる時期におすすめです。

李さんおすすめ
「キムチ鍋にかぼ
ちゃをごろっと入
れるとまろやかに
なりますよ」



「趙さんの味」の李さん（中央）と組合員の牧野さん（右）と小松田さん（左）。



キムチ 200 g、鍋の素 200 g、トクク 70 g、コチュジャン 20 gのセット（レシピつき）



200 趙さんのキムチ鍋セット

■会場に広がる香ばしい醤油の香り（つくば市・沼屋本店）

当日は生協本部で発酵・熟成させていた常総オリジナル醤油のもろみを、沼尻社長にお祭り会場で搾って頂き、搾りたての生醤油で「磯辺焼き」を即売。焼けたお餅に生醤油を塗ると、**醤油に火が入り会場一帯に香ばしい香りが広がりました。**おかげでお手伝いの組合員さんは次から次にお餅を焼くことに。ありがとうございました！



沼屋本店・5代目沼尻和浩社長

278 常総寒仕込み醤油（生）

■お子さんに食べて欲しいハム・ソーセージ（神奈川県・鎌倉ハムクラウン商会）



鎌倉ハムクラウン商会・魚住さん

鎌倉ハムクラウン商会からは魚住さん。フランクフルトを焼きながら、来場者に市販のハムやソーセージとの違いについて説明して頂きました。

「市販品には多くの食品添加物が使われています。少ない豚肉を水分で増量させるための**リン酸塩**、味をつける**アミノ酸**、見た目を色鮮やかなピンク色にさせて日持ちを良くする**発色剤**」。そんな話を来場されたお母さんにしながら、そのそばでお子さんが「おいしい」と言ってソーセージをほおぼっていました。「最高の一日でした！」と魚住さん。

(例) ロースハムの原材料比較

	鎌倉ハムクラウン商会	市販品（一例）
原材料	豚ロース肉、塩、粗糖、 香辛料	豚ロース肉、糖類（水あめ、砂糖）、塩、乳たん白、たん白加水分解物、 リン酸塩（Na） 、調味料（アミノ酸）、カゼイン Na、酸化防止剤、 発色剤（亜硝酸 Na）

144 鎌倉串ざし フランクフルト

基本料・配達料・業務効率化で267万円の黒字
引き続き、週6,000円、注文提出90%をみんなで！
年末に向け元気な食卓と「暮らし見直し」提案に役職員一同頑張ります。

■上半期の経常収支は267万円の黒字でした。

- ・「配達料」「基本料」を導入して初めての上半期を終えました。結果267万円の経常黒字となりました。
- ・しかし、供給事業の採算性（供給事業収支）では730万円の赤字です。当初計画では上半期の事業収支は▲1,600万円で通過する予定でしたが、事業構造の変化に伴う供給コースの効率化、予算執行の一部ずれ込みで経費が抑えられ、予定の半分以下の赤字幅に抑えることができました。
- ・夏休み明けの注文再開の動きが鈍く、配布枚数がなかなか元に戻りませんでした。4月からの半年間で125名の新しい仲間が加わりましたが、目標の180名には届きませんでした。
- ・1人当りの利用高平均は5,885円で前年同期よりも559円増加しました。組合員皆さんの協力もあり、注文用紙の提出率も87.9%となり7.1ポイント増加しました。
- ・年度当初組合員みんなで目標にしました「週利用6,000円」、「提出率90%」にむけて引き続き宜しくお願い致します。

（注文書提出率、一人当利用の状況）

提出率、1人当週利用推移		4月-9月期
注文書発行	2012年度	120,525枚
	2013年度	94,180枚
	(前年比)	(78.1%)
注文書提出	2012年度	97,327枚
	2013年度	82,824枚
	(前年比)	(85.1%)
提出率	2012年度	80.8%
	2013年度	87.9%
一人当週利用	2012年度	5,326円
	2013年度	5,885円
	(前年差)	(+559円)

損益計算書（2013年4月1日～2013年9月30日）

(科目)	(金額)	(計画差)	(備考)
供給高	5億143万円	△1,770万円	組合員が購入した総額。夏休み明けの配布枚数が低迷。一人当利用高は前年より570円増、提出率は前年の80%から85%に増。
供給剰余	1億3,992万円	+38万円	配達料収入342万円（概算）、共済その他手数料収入243万円を含む。
事業経費	1億4,723万円	△829万円	経営構造の変化に対応した供給コースの効率化を推進。
人件費	7,410万円	△235万円	計画比96.9%。職員2名退職。
物件費	7,313万円	△594万円	計画比92.5%。予算執行一部ずれこみ。
事業剰余	△731万円	+868万円	経費を引いた後の利益。当初1,600万円の赤字で計画。供給コースの効率化と予算執行が一部下期にずれ込み730万円の赤字におさまる。
事業外収支	997万円		基本料収入932万円、その他、放射能合同調査へのカンパ、検査料収入、組合員翻訳本販売収入繰入など。
経常剰余	267万円	+604万円	事業外収支（基本料収入など）を加味した経常剰余は267万円の黒字。

■上半期（4-9月）業務のまとめ

○経営構造の変化に対応した業務

- ・今年3月から開始しました供給業務の効率化を、上半期集中して実施しました。結果、トラック1台当たりの供給効率が改善しました。
- ・供給担当責任者による指導体制も整備され、業務改善が進みました。
- ・供給業務に「タブレット」を導入することで、転記作業廃止、集計作業の効率化、荷降ろしミスの減少など業務の効率化が進みました。

○じっくり説明しての仲間づくり

- ・常総生協についてしっかり説明して加入頂くこと、加入後もしっかり利用できるように支えることの2つを念頭に置いた拡大をすすめました。結果、新規加入された方の利用は、昨年よりも1人当り1,300円高い状況です。

○ネット注文を開始しました

- ・生協の全商品をネットで購入できるようにしました。現在組合員の1/7の方が登録されており、「なかなか使いやすい」と好評です。
- ・今後、さらに使い勝手の向上と共に、産地がより身近に感じられたり、料理が楽しくなるような内容を目指します。

■年末に向けて元気な食卓提案を推進します

①役職員一丸となって健康で経済的な食卓の提案をしています（常総生協「旬の食材おすすめチーム」活動中）

- ・「せっかく常総生協に入っているのだから、この秋おすすめの旬の食材をみんなに食べてもらいたい！」そんな意気込みで結成しました「旬の食材おすすめチーム」。

●れんこん、●有機の野菜セット、●宮城のかき、●米こうじ、●岩瀬さんの豚肉の5つのチームが活動中です。

- ・時には産地に取材に行き、時にはおすすめ料理を作りニュースでお知らせします。

②クッキングキャラバン＆おせち試食会で年末の食卓を提案します。

- ・上半期はクッキングキャラバンを23か所で開催し、「料理や素材の基礎を知ることができてよかった！」「早速今晚作ります！」と好評でした。ぜひお気軽にどうぞ。

【クッキングキャラバン】	
11/19 火	我孫子（アビスタ）
11/22 金	つくば（春日交流センター）
11/26 火	柏（光が丘近隣センター）
11/27 水	取手市（ゆうあいプラザ）

【おせち試食会】	
11/26 火	つくば（小野川交流センター）
11/28 木	我孫子（南近隣センター）

※詳細は近隣コース上でお知らせを流します。

ご友人・知人のご紹介お待ちしております！

子どもたちは原発事故でどのくらい内部被ばくしたのか？

昨年 2012 年 7 月、生協理事会は「茨城・千葉ホットスポットエリアにおける汚染と被ばくの実体検証」を事務局に指示しました。

その重点事項は下記の通りでした。

- ①内外被ばくの客観的事実を把握して家族の健康維持のための食生活を提案すること。
- ②初期被ばくの実体を検証し、子どもたちの健康の変異を注意深く観察する手だてを提案すること。
- ③土壌調査、ガラスバジ調査から日常の外部被ばく線量を評価すること。
- ④ハウスダスト調査等から室内汚染と塵の吸入被ばくの低減について提案すること。
- ⑤尿検査等のバイオアッセイで経口摂取による体内被ばくレベルを評価すること。
- ⑥日本の土壌特性による作物へのセシウム移行率の実体を調査し、食品からの経口由来の内部被ばくレベルを評価すること。
- ⑦海洋汚染による海産物の食物連鎖を監視すること。
- ⑧チェルノブイリ事故後 26 年の健康影響との比較研究をすすめること（脱原発くらし見直し委員会を中心に）。

与えられたテーマの②が今回報告の母乳のバイオアッセイから見たヨウ素 131 の吸入被ばく量の検証と甲状腺等価線量評価でした。

呼吸による吸入被ばく量が大変大きい事は昨年の 7 月にこのニュースで発表していましたが、母乳の濃度との照合によって空气中濃度の測定限界に気付き、昨年報告の倍近い量の放射能を吸入していた可能性が高いことを示したのが今回のレポートです。

これらの独自調査検討からして、福島での被ばくに比しては茨城・千葉は相対的に低いものの、初めての大量

被ばくであることに変わりありません。子どもたちの健康の継続的な観察が今後とても大事になってくると判断され昨年秋より生協単独で健康調査が開始されました。

国に対しても「子ども関東ネット」と共に子ども被災者支援法にもとづく健康調査の実施を再三にわたって申し入れ・交渉しましたが、国は茨城・千葉を対象からはずしました。

原発事故を引き起こした東京電力、そして初期防護に失敗して国民を被ばくさせた国の責任は大変重いのですが、それに加えて ICRP や国連科学委員会などが国際的な健康影響の過小評価と「低線量被ばく受忍」キャンペーンを繰り返しています。

一人ひとりのかけがえのない健康や生命を、政治や経済の具にするようなことは決して許せません。

科学や科学者への信頼も失墜しました。『科学者に委ねてはいけないこと・・・科学から「生」をとりもどす』（岩波書店）という本が発行されましたが、先に紹介した通り、命を育むべき産婦人科学会の論文のいい加減さに愕然としたのは私ひとりではないでしょう。

その英文論文の中に書いてあることは、まさに私たちのことでした。一人のお母さんの母乳は、子どもたちの生を育む私たちみんなの母乳のことです。

私たちの「生」は国や科学者や学会など他人に委ねてはならず、今ここにいる私たちのかけがえのない子どもたちの「生」を守れるのは私たち自身しかいないことを肝に銘じておきましょう。

国がやらないなら、と地域に呼びかけて市民の手で設立した「関東子ども健康調査支援基金」は、みんなの協力で 11/10 までの 2 ヶ月で千葉を含めて 600 名を超える子どもたちの甲状腺検診を実施できました。

はじまったばかりで、放射能との本当の闘いはこれからです。8/31 に開催された勉強会をもとにしたレポートはこれでいったん終了いたします。（以上、文責大石）

脱原発とくらし見直し委員会（第 26 回 11/1）報告 次回 12 月定例会は 12/2（月）10 時～です

11 月 1 日（金）10～13 時 14 名参加

- 検討中の「映画上映会 & 島田めぐみさん講演会」「菅谷昭さん講演会」日程調整中です。
- 3.11 事故から約 2 年以上経過したこれまでのデータを比較し動向を見るために、各自治体や個人で食品等測定した放射線測定結果（コピー・メモ）を持ち寄ることになりました。お持ちの方は次回以降にご持参ください。
- 「関東子ども健康調査支援基金」による甲状腺検査を 10 月は 2 回実施（つくば約 110 人・守谷約 210 人）初めてで手際よくとはいきませんでした。助け合いながら出来た等報告がありました。

11/9-10 に流山で実施し今年分は終了します。結果がまとまり次第報告の予定です。

- 東海第二原発差止訴訟裁判の第 4 回口頭弁論（10/17）の報告がありました。来年 1/19 に訴訟団勉強会予定。第 5 回口頭弁論は 2/13 です。
- 「血液検査」の分析結果について 三田先生と繋がった経緯や、省庁交渉で必要性を訴えるべく説明したとの報告がありました。
- 10 月 13 日と 14 日の第 3 回市民科学者国際会議（東京）の参加報告がありました。